

第5分科会 小中学校における不登校支援の在り方

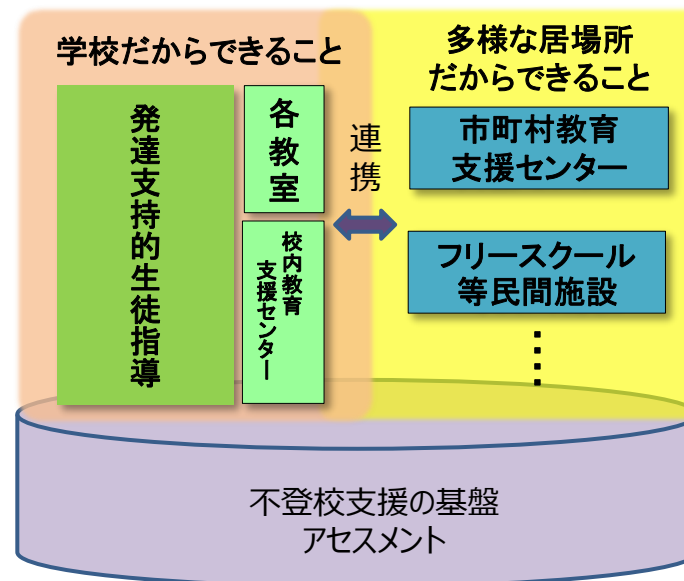
～学校だからこそできる「学び」と多様な居場所だからこそできる「学び」を探る～

大阪府教育庁市町村教育室
小中学校課生徒指導グループ

参加者のアンケートより

**今、問われる「学校だからこそできること」、「多様な居場所だからこそできること」
そして、子ども一人ひとりに合った支援につなげるためのアセスメントの在り方を探ります！**

不登校が低年齢化している傾向や、一旦不登校になると次の学年でも継続する傾向から、今後、不登校になる子どもはますます増加する可能性があります。そこで、今学校に求められる、魅力ある学校に向けた**発達支持的生徒指導の実践発表**及び、多様な居場所での個々に応じた支援として**ICTを活用した取り組み**や、**フリースクール等と学校との連携に関する実践発表**を行います。また、これらの取り組みを子どもに合った支援とするために不可欠なアセスメントの方法として、**いつでもどこでも短時間でアセスメントを深める機会の持ち方等**について講演いただき、明日からの**実践のヒントとなる取り組み**をお伝えします。



実践発表

**学校だからこそできる「学び」
多様な居場所だからこそできる「学び」**

1. 魅力ある学校づくり～発達支持的生徒指導の取り組み～（小中学校より）
2. メタバース空間等ICTを活用した取り組み（市町村教育支援センターより）
3. フリースクールでの「学び」と学校との連携（フリースクールより）

講演・ ワーク

**不登校支援の基盤となる
アセスメント**

「不登校児童生徒へのアセスメントに基づいた
チーム支援の在り方」
立命館大学 教授 野田 正人（大阪府教育委員会SSWSV）

・児童生徒の社会的自立に向けた支援について、多方面の具体的な取り組みを聞くことができ、より良い不登校支援の方向性について考えることができました。

・実際に関わっている子どもの顔を思い浮かべながら、参加することができ、非常に良い学びになりました。

・講演を聞き、SC・SSWと協働して、アセスメントや支援を検討する具体的なイメージが湧きました。